

人間ドック 健康診断結果表の見方について

○ 検査項目別説明表

	項目	説明
身体計測	身体計測	肥満もしくはやせなどの程度がわかります。
	BMI(肥満度)	体重/身長(m) ² で計算します。肥満度のチェックは、生活習慣病を予防する上できわめて大切なことです。
	腹囲	メタボリックシンドロームの診断に必要となる項目です。診断基準は、腹囲：男性≧85cm 女性≧90cm + 次の2項目以上が当てはまる場合です。①高トリグリセライド(TG)血症≧150mg/dL かつ/または 低HDLコレステロール(HDL-C)血症<40mg/dL ②収縮期血圧≧130mmHg かつ/または 拡張期血圧≧85mmHg ③空腹時高血糖≧110mg/dL
眼科系検査	視力	目の良さ悪さ(近視・遠視・乱視等)がわかります。 (近くのものが見えにくい老視は視力検査ではわかりません)
	聴力	難聴がないかを調べます。
	血圧	心臓の収縮と拡張が血管に与える圧力を測定します。心臓が収縮し血液を押し出すときの圧力を収縮期血圧(上の血圧)、逆に、心臓が拡張し最も圧力が下がった状態を拡張期血圧(下の血圧)といいます。
	生化学検査	血液の中に含まれている物質を分析するもので、どんな物質がどれだけあるかで体の健康状態、とくに各内臓の状態をチェックするものです。
	脂質代謝	これらの物質の値により、動脈硬化・心臓病・肝臓病・脳血管障害などの疾患にかかる危険性を調べます。
	肝・胆・膵機能	これらの物質は酵素というもので、主に肝臓に存在します。肝・胆道疾患の診断につながります。アミラーゼに関しては、膵臓・唾液腺疾患のチェックの役割も担っています。
	電解質	ミネラルの一種で、生命維持に欠かす事のできない役割を果たします。電解質の不均衡は脱水や内分泌疾患などいろいろな疾患で起こることがあります。
	糖代謝	体の中で糖の代謝が正常に行われているかどうかをみる検査です。糖尿病の診断にも有効な指標になります。
痛風	尿酸	主に痛風を引き起こす高尿酸血症の状態を調べます。また、腎機能障害を調べます。
	血液一般	血液中の血球の数を調べます。種々の血球の増減によって貧血や身体の炎症の有無、血液の止血機能の程度がわかります。
	腎機能	クレアチニンなどは体内でエネルギーとして使われたたんぱく質の老廃物です。腎臓が正常に働いていればろ過され尿として出ていきます。血液中に増えるという事は、腎機能の低下を意味しています。
	尿検査	尿中に含まれる成分や性質により、腎臓疾患、尿路系疾患(尿管・膀胱・尿道など)の他、糖尿病の状態、疲労度、肝臓の状態なども知ることが可能です。
	肝炎	肝炎ウィルスの有無や肝炎ウィルスに対する抵抗力を調べます。
大腸	便検査	消化管、特に大腸からの出血の有無を調べる検査です。反応が陽性であれば消化管のどこかに出血を疑います。
	肺機能	どれだけ空気を吸い込み、吐き出せるかを診ることで、肺の容量や肺の機能を測定します。呼吸器疾患を知る手がかりになります。この検査は受診時の姿勢や体形で大きく差がでますので、総合判定を参考にしてください。
炎症	CRP	炎症性疾患の有無や程度を知ることができます。
	心電図	心臓は微小な電流で動いています。その電気の流れ方を調べる事で、心臓の働きが正常かどうかを知る手段となります。
	胸部X線	肺・胸膜・胸郭・縦隔・心臓など胸部全般の形態を調べ病気の可能性をさぐります。血管異常なども知る事ができます。

	項目	説明
胃部	上部消化管検査	食道、胃、十二指腸の状況を調べます。潰瘍・ポリープ・がんの早期発見にも有効です。 X線検査：造影剤（バリウム）を飲んで行う検査です。 内視鏡検査：スコープ（カメラ）を鼻または口から挿入して行う検査です。また必要に応じて組織の一部を採取して調べます。
腹部	腹部超音波	超音波を身体に当てると、臓器や組織それぞれが、エコー（反射波）を返します。それを受け取り映像化したものを診断します。腫瘍や結石、ポリープなどを見つける検査です。
	ABI (動脈硬化度)	両腕・両足首の4カ所の血圧を同時に測定し、動脈硬化度の有無を調べます。
頭部	MRI・MRA	磁気による画像診断で、CT検査では診断困難な病変も分かります。MRAは脳動脈瘤の発見に有効です。
大腸	下部消化管検査	下部消化管に内視鏡を挿入し、直接、大腸の粘膜を観察します。(当院では、胃と大腸を同日に行うことが可能です)

○ オプション検査項目別説明表

	項目	説明
	骨塩定量	X線を腰の骨にあて、骨の密度を測定し、骨粗鬆症の有無を調べます。
	腫瘍マーカー	癌ができると、その場所や癌の種類によって特殊な物質が血液中に入ることになります。その物質の量を測ることにより、癌の可能性があるかどうかをチェックします。これはあくまでも目安の検査です。
	AFP	原発性肝がん、その他の悪性腫瘍などの疑いを調べます。(男・女セット)
	CEA	大腸がんやその他のがんの疑いを調べます。喫煙によって高値になる事があります。(男・女セット)
	CA19-9	膵臓がんの疑いを調べます。(男・女セット)
	PSA	前立腺がん、前立腺肥大症の疑いを調べます。(男性セット)
	CA15-3	乳がんの疑いを調べます。(女性セット)
	CA125	卵巣がんの疑いを調べます。(女性セット)
	喀痰検査	痰に含まれる、主に肺の悪性腫瘍の有無を見るための検査です。
	乳腺ドック	乳房を触診して異常なしこりがなければ調べます。また、超音波は小さなしこりの存在とそのしこりの原因が何かを調べるのに適しており、マンモグラフィは乳癌で生じる微細な石灰化を調べるのに適しています。
	心臓超音波	超音波による検査で、心臓の動き・弁の異常の有無・心筋の厚さなどを調べます。
	心臓CT	マルチスライスCTにて、立体解析画像を撮る検査で、カテーテル検査なしで心臓の重要な血管である冠動脈の動脈硬化病変を調べます。
	胸部(肺)CT	胸部のコンピューター断層写真を撮る検査で、肺がん・肺気腫・肺炎・COPD(慢性閉塞性肺疾患)や肺以外の病変などを調べます。
	腹部CT	腹部のコンピューター断層写真を撮る検査で、肝臓・腎臓・膵臓・胆嚢・脾臓などの形態や異常の有無を調べます。
頭部	脳ドック MRI・MRA	磁気による画像診断で、CT検査では診断困難な病変も分かります。MRAは脳動脈瘤の発見に有効です。くも膜下出血や脳出血の原因となる脳動脈瘤や脳血管奇形、脳腫瘍などを調べます。
動脈硬化検査	ABI (動脈硬化度)	両腕・両足首の4カ所の血圧を同時に測定し、動脈硬化度の有無を調べます。
	頸動脈エコー	超音波による検査で、頸動脈の動脈硬化性変化の有無を調べます。
大腸	下部消化管検査	下部消化管に内視鏡を挿入し、直接、大腸の粘膜を観察します。(当院では、胃と大腸を同日に行うことが可能です)

○ 判定結果について

A	異常なし	この検査の範囲では異常ありません。
B	放置可	わずかに基準範囲を外れていますが、日常生活に差し支えありません。
C	要経過観察	日常生活に注意を要し、定期的に検査を受けながら経過観察して下さい。
D2	要精密検査 (要精査)	今回の検査では異常の状況が明確になりません。又は、検査結果が正常範囲をはずれているか、検査所見に異常の疑いがあります。専門医のもとでさらに詳しい検査あるいはもう一度同じ検査を行って確認する必要がありますので、受診をおすすめします。
D1	要医療	検査の結果、治療が必要と思われるのでかかりつけ医にご相談下さい。かかりつけ医がおられない方は、専門医受診して下さい。
E	治療中	現在の治療をご継続下さい。

○ 要再検査・要精密検査のご案内

健診結果で再検査や要精査と判定されましたら放置せず二次検査の受診をおすすめいたします。また、嶋田病院への受診を希望される場合は、各科専門医による診療を行っております。外来は予約制となっておりますので、受診の2週間前までに必ず当健診センターアクアへ予約をして下さい。なお、お電話の際に健診受診日または、結果表のID番号をお知らせ下さい。

～ 健診結果・外来予約問い合わせ ～

社会医療法人シマダ 嶋田病院健診センター アクア

直通電話：0942-72-2375 月曜～土曜(祝祭日・特定日除く)：9:00～17:00